

反原発断食の中島氏に学ぶ

看護師

(大阪府 59)

福井県小浜市の明通寺住職、中島哲彦さんが5月15～17日の3日間、関西電力高浜原発の再稼働に抗議し、大阪市北区の関電本店前で断食をされた。私も17日午後、関電前に応援にかけつけた。

中島さんは約50年前から反原発・反原発運動を続けている。廃炉も含め15基もの原発が集中する「原発銀座」若狭湾岸で、小浜市に原発が無いのは、彼の粘り強い運動によるところが大きいと思う。原発の存在に抱びえながら生活する地方と、そこで作られた電気を大量消費する生活を享受する大

都会の格差。都会の人々は原発のある地域の人々に思いをはせ、できれば原発反対運動への参加を、と中島さんは訴えておられる。

17日、私たちの願いはかなえられず、高浜原発4号機は再稼働した。だが中島さんは「再稼働を認めない県知事への抗議もある」と、18日からは地元福井県庁で断食を続けた。敦賀市の福井地域原子力規制総括調整官事務所にて若狭湾岸の津波痕跡調査を要望して、75歳、命がけの行動に頭が下がる。「推進派の意見も聞こう」と言われる情熱派だが、穏やかな彼の運動に私たちは多くを学び、粘り強く声をあげていかねばと思う。